



やかた

「やさしく かしこく たくましく」

大部小だより

令和7年2月

文責：学校長

2月は逃げる…？

2月に入り、寒さの中にも、春の足音を感じる季節となりました。

「2月は逃げる」と言われています。元々の2月の日数が少ないのもあります（2月の登校する日は18日）、年度末が近づく慌ただしさの中で、あっという間に逃げていってしまうかのように感じるのでしょうか。

しかし、大部小は2月を逃がしません。一日一日を、一時間一時間の授業を、一つ一つの行事や活動を大切にしていきます。学び多い、充実した2月にしていきたいと思います。

2月7日には、今年度最後の学習参観を開催します。今年度の子どもたちの成長をお見せすることができればと思っています。どうぞ、ご期待ください。学級懇談会へのご出席もよろしくお願ひいたします。



小野市制70周年を迎えて

昨年の12月1日に、小野市は市制70周年を迎えました。その記念式典が同日にエクラで開催され、その冒頭小野市のPR動画が上映されました。私はその式典に出席していましたが、その動画を見て、改めて小野市によさ、すばらしさを感じることができました。小野アルプス、桜づつみ回廊、国宝浄土寺、ひまわりの丘公園などの名所、小野まつりのおの恋おどりや小野ハーフマラソンなどのイベント、等々、小野市の魅力がたくさん紹介されており、小野市民として大変誇らしく思えるものでした。



▲国宝浄土寺 浄土堂



▲朝会で記念動画を視聴

このような小野市の魅力を子どもたちにも伝えたいと思い、昨年12月の朝会で「わたしたちの小野市」と題して子どもたちにプレゼントしたのですが、やはりあの記念動画を子どもたちに見せたいと思い、小野市役所の総合政策グループにお願いをして、1月27日の朝会で上映していただくことができました。子どもたちは次から次へと紹介される小野市の魅力や成長の歴史を食い入るように見ていました。小野市によさやすばらしさを、子どもたちなりに感じ取ってくれたのではないかと思います。

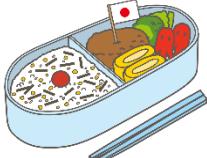
視聴した子どもたちは、「小野市にはすばらしいものがいっぱい。住んでてよかったです。」「小野市についてまだ知らないことばかり。小野市にしかない特色をもっと知りたい。」「自分たちが豊かに暮らせる小野市が、たくさんの人たちの努力で作られてきたことを初めて知った。」「小野市の成長を感じた。大人になったら、この生まれてきた小野市に力を尽くしたい。」などと感想を書いていました。小野市を改めて見つめ直すことのできる貴重な機会となりました。

これから未来を担う子どもたちが、今住んでいる小野市を愛し、郷土の伝統と文化を大切にしようとする心をもって、市花ひまわりのように大きく成長していくことを心から願っています。ご家庭でも、小野市について、郷土について、家族で語り合う時間をとっていただければありがたいです。



▲小野市花 ひまわり

2月の主な行事予定

- | | | |
|----------|------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2月 3日(月) | 朝会 | 
 |
| 4日(火) | 児童会役員選挙立会演説会・投票 | |
| 6日(木) | パチパチタイム 6年旭丘中学校一日入学 | |
| 7日(金) | 第4回オープンスクール(学習参観・学級懇談会) | |
| 10日(月) | 朝会 | |
| 11日(火) | 建国記念の日 | |
| 12日(水) | 学校保健委員会 | |
| 13日(木) | パチパチタイム 令和7年度新1年生一日入学・説明会 | |
| 14日(金) | 委員会活動 | |
| 17日(月) | 児童会引継ぎ集会 代表委員会 | |
| 18日(火) | 1~3年大縄大会 | |
| 19日(水) | 4~6年大縄大会 | |
| 20日(木) | パチパチタイム ハートフル弁当 4年社会見学(陶の里等) | |
| 21日(金) | 集会 | |
| 23日(日) | 天皇誕生日 | |
| 24日(月) | 振替休日 | |
| 25日(火) | おの検定(計算) | |
| 26日(水) | おの検定(漢字) | |
| 27日(木) | パチパチ集会 | |
| 28日(金) | 6年生を送る会 クラブ活動 | |

心あったか ♡ ウェルビーイング ♡

夏休みの課題として作品を募集した「心あったかポスター」「心あったか三行詩」で、3人の児童の作品が入選を果たしました。どの作品からも、周りの人に寄り添おうとするやさしい気持ちが感じられます。

このような思いや考え方が子どもたちの中に広がり、ウェルビービングな雰囲気が醸成されていくことを心から願っています。



スマホではけんさくできない
ぼくの気持ち
まずは、会話をすることから
始めよう。